

町政を問う

自然を満喫する新しいツーリズムの形を！

町長 県に対して、まず安全対策を要望した



乾 裕

アウトドアメーカーなどがルート第一号を認定

乾 先般、民間企業などが組織する「ジャパンエコトラック推進協議会」が鳥取県西部の境港・米子の両市から大山山頂に至る49・4キロ他に大山周辺を自転車で周遊するコース83・2キロなどを認定した。町の対応は。

町長 県道ルートを使うという話であり、県が主導されないと実効性あるものにはならない。その上で市町村の役割が出てくるのであれば議会と相談しながら取り組むべきものがあるれば取り組んでいくというのが基本姿勢。乾 スポーツツーリズムを通して地域活性化を図れるのでは。

町長 地域振興にいろいろな行政的なパワーを注い

消防団員の定員数は確保されたか 担当課長 定員数に対して約9割の達成率

でいくとなればその効果を把握しないといけない。安全確保が大事だ。趣味やレジャーというツーリズム（観光事業）が道路交通の日常生活の中に入ってくるのでお互いのルールの中に食い違いが出てくることもある。その場面を安全対策という観点で寄り添って頂かないといけない。

基礎自治体としては、安全第一でやらないといけないと思っっている。

消防団員の確保について

乾 条例により定員が決められているが満たされているか。

担当課長 定員は、163名です。現在148名でおよそ9割の達成率だがこの人員で対応している。



トバ進自グ、カ旅第皆は
コ、推すンウ活むの、選
エ、ラ提案ツのツ樂と「境
パン、コトがトなボのこて地
ジャック協会、又アて形号と、大
「エコ・トレッキング」を推進する「境港」を「エコ・トレッキング」の拠点として、自然の魅力を最大限に生かすことを目指している。



町消防団の出初め式で一斉放水の様子

乾 安心安全のため団員確保に向けてどのような努力がなされたか。

担当課長 議員提案の高校生一日体験入団は実施していない。

行政無線あるいは、町のホームページ、また、各分団での勧誘。それと町長が県との行政懇談会で県職員の消防団への加入促進によって若干の加

入があり少しずつ効果を挙げてきている。この他に役場職員については、男性の場合は新規採用について原則消防団に入って頂いている。女性の場合は、任意だが加入促進を図っている。また、消防団OBの方へ声をかけて再入団して頂いた例もある。